

演題

薬剤関連顎骨壊死

～最新の知見と治療について～

オンライン
開催

講師

歯科口腔外科・矯正歯科

講師 河野 通秀 医師

薬剤関連顎骨壊死とは、主に悪性腫瘍や骨粗鬆症に使用する骨吸収抑制薬を使用している患者さんの顎の骨が腐ってしまう病気（顎骨壊死）です。2003年に、代表薬であるビスホスホネート製剤に関連した顎骨壊死が報告されて以来、約20年が経過しました。治療方法に関して、長期にわたり洗浄や薬物療法などの保存的な治療が主体に行われてきましたが、保存療法の根治率は数%で徐々に病変範囲が拡大していくことから、近年では積極的な外科治療が根治治療として注目されています。

当院では、2020年より専門外来を立ち上げ、積極的な外科治療を主体に根治的治療に尽力しています。

本講座では、2022年にアップデートされたアメリカ口腔顎顔面外科学会 薬剤関連顎骨壊死ポジションペーパー（公式見解）の内容を主体に、現在わかっていることを整理し、当院で行っているコンピューターシュミレーションを基にした最新の外科治療について解説します。



You Tubeにて動画公開中！

こちらの二次元コードから
講演動画をご覧いただけます。
(病院ホームページが開きます)

